

# さらなる疾患克服に向けて ~Moving forward~

定員400名  
参加無料  
事前登録制



循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業



慢性の痛み解明事業



腎疾患実用化研究事業



移植医療技術開発研究事業

多くの方々にとって身近な疾患(Comon Disease)を対象とした、基礎研究から新たな治療法や診断法の開発に繋がる研究開発の進捗と成果をご報告いたします。研究者の方、患者さん及びそのご家族をはじめとする一般市民の方など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日程

2020年2月10日月  
13:00~18:30(開場:12:30)

場所

よみうり大手町ホール  
東京都千代田区大手町1-7-1(読売新聞ビル内)

## 市民向けセッション 13:10~14:10

- 座長: 津村 和大 (川崎市立川崎病院) 内田 啓子 (東京女子医科大学)
- 糖尿病性腎症を調節するマイクロRNAの解析—バイオマーカー・新規遺伝子治療法開発—  
森下 義幸 (自治医科大学)
- 肺移植における体外肺灌流保存(EVLP)を用いたマージナルドナー肺の治療  
伊達 洋至 (京都大学)
- 診療連携・国際連携をも視野にいれた、生活習慣病、CKDの診療の質向上に直結する多施設長期コホート研究  
山縣 邦弘 (筑波大学)
- 神経画像検査法を用いた中枢性脳卒中後疼痛の客観的指標の探索と革新的非侵襲脳刺激療法の開発  
細見 晃一 (大阪大学)

## 講演I 移植医療技術開発研究事業 14:10~14:50

- 事業概要  
北村 悠一郎 (循環器病研究振興財団) 小寺 良尚 (愛知医科大学)
- 非血縁者間末梢血幹細胞移植における新規慢性GVHD予防法と持続型G-CSFによる幹細胞動員の開発研究  
豊嶋 崇徳 (北海道大学)
- 造血細胞移植登録一元管理レジストリデータの移植成績向上に資する臨床研究への活用に関する研究  
熱田 由子 (日本造血細胞移植データセンター)

## Plenary session 15:00~15:40

- 座長: 鎌田 俊彦、清水 秀二 (AMED)
- サイバニクスによる医療イノベーション最前線  
~ 人に寄り添う医療機器が創る未来 ~  
山海 嘉之 (筑波大学、CYBERDYNE株式会社)

## ポスターセッション 14:30~17:30

I 腎疾患実用化研究事業	14:30~14:50
II 移植医療技術開発研究事業	15:50~16:10
III 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業	16:10~17:00
IV 慢性の痛み解明研究事業	17:10~17:30

## 講演II 腎疾患実用化研究事業、慢性の痛み解明研究事業 15:40~17:00

- 事業概要(腎疾患実用化研究事業)  
相川 厚 (東邦大学)
- 腎疾患におけるアミノ酸キラリティを標的とした分子病態の解明研究  
和田 隆志 (金沢大学)
- 炎症の収束に着目した腎疾患の病態解明  
藤生 克仁 (東京大学)
- 事業概要(慢性の痛み解明研究事業)  
眞下 節 (大阪大学)
- 三叉神経障害性疼痛に対する新たな予防および治療システムの構築  
岩田 幸一 (日本大学)
- 標的細胞特異的なエピジェネティクス網羅解析による遷延性術後疼痛の分子病態解明およびその予防アルゴリズム開発を目指した最先端基礎研究  
成田 年 (星薬科大学)

## 講演III 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業 17:10~18:20

- 事業概要  
春日 雅人 (朝日生命成人病研究所)
- 循環器病医療の適正化に資するための、全国大規模データベースによるエビデンスの創出  
小室 一成 (東京大学)
- 脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究  
飯原 弘二 (九州大学)
- 急性大動脈解離のEvidence Practice Gapの可視化を行うための指標の作成と測定に関する研究  
荻野 均 (東京医科大学)
- ICTを活用したDiabetic Kidney Diseaseの成成分類と糖尿病腎症重症化抑制法の構築  
柏原 直樹 (川崎医科大学)

## お問い合わせ先

運営事務局((株)博秀工芸内)

TEL 03-5818-5916 受付時間 10:00~18:00

FAX 03-3834-4390 土・日・祝日・  
2019年12月30日~31日  
2020年1月2日~3日を除く

E-mail amed2019@hakushu-arts.co.jp

